

# 令和5年度 沖縄群島 病害虫発生予報 第6号（9月予報）

○向こう1か月の天候の見通し（令和5年8月17日発表：沖縄気象台）

平均気温	降水量	日照時間
高い	ほぼ平年並	ほぼ平年並

○9月の発生予報（沖縄群島）

作物	病害虫名		調査結果	予報		予報の根拠
			8月の発生量 (平年比)	8月からの 増減	9月の発生量 (平年比)	
（ タ カ ン カ キ ン コ ）	①	かいよう病	やや少	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	②	黒点病	やや多	→	やや多	平年の発生量の推移（→）
	③	ハダニ類	並	↘	並	平年の発生量の推移（↘）
マ ン ゴ ー	①	チャノキイロアザミウマ	並	↘	並	平年の発生量の推移（↘）
	②	マンゴーハフクレタマバエ	多	↗	やや多	例年の発生量の推移（↗）
オ ク ラ	①	フタテンミドリヒメヨコバ イ	並	↘	並	平年の発生量の推移（↘）

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※（発生なし）は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予報の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○その他注意すべき病害虫（沖縄群島）

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
カンシヨ	トリバ類	幼虫が葉を食害する。例年より被害葉率が高く、多くのほ場で発生がみられた。発生初期の防除が有効であるので、被害葉が出はじめたら、早期防除に努める。
（温州かんきつ）	褐色腐敗病	本病は果実に発生する。園を見回り、発病果を除去すると共に、発病を認められたら直ちに登録農薬を散布する。
	青かび病	本病は貯蔵中の果実に発生する。分生子が空中に飛散して、収穫果の表面に付着したり、傷口から侵入したりして貯蔵庫に持ち込まれる。降雨時や果実に水滴があるときは収穫を行わない。果実に傷を付けないように収穫、運搬、選果を丁寧にする。収穫前に登録農薬を散布する。
マンゴー	炭そ病・軸腐病・すす点病	せん定枝や残さは感染源となるので、施設外へ持ち出し処分する。
	ドクガ類・ナカジロフサヤガ・ハマキガ類、シヤクガ類	一部施設でタイワンキドクガ、オオセンダンヒメハマキの発生が見られた。ガ類幼虫は新葉を食害するので、施設内を見回り、早期発見・防除に努める。
オクラ	カタツムリ類	切り戻し後萌芽した株は、草丈が低く葉が柔らかいため加害を受けやすいので、発見次第捕殺に努める。

# 令和5年度 宮古群島 病害虫発生予報 第6号（9月予報）

○向こう1か月の天候の見通し（令和5年8月17日発表：沖縄気象台）

平均気温	降水量	日照時間
高い	ほぼ平年並	ほぼ平年並

○9月の発生予報（宮古群島）

作物	病害虫名	調査結果	予報		予報の根拠
		8月の発生量 (平年比)	8月からの 増減	9月の発生量 (平年比)	
マン ゴー	① チャノキイロアザミウマ	並	↓	並	平年の発生量の推移（↓）
	② マンゴーハフクレタマバエ	やや多	↓	やや多	平年の発生量の推移（↓）
	③ ハダニ類	並	↓	並	平年の発生量の推移（↓）

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※（発生なし）は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予報の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○その他注意すべき病害虫（宮古群島）

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
マン ゴー	炭そ病・軸腐病・すす点病	せん定枝や残さは感染源となるので、施設外へ持ち出し処分する。
	ドクガ類・ナカジロフサヤガ ・ハマキガ類、シヤクガ類	一部調査施設でドクガ類及びナカジロフサヤガの発生が見られた。 ガ類幼虫は新葉を食害するので、施設内を見回り、早期発見・防除に努める。
	カイガラムシ類	一部施設でコナカイガラムシ類の発生がみられた。 せん定枝や残さは発生源となるので、施設外へ持ち出し処分するとともに、早期発見・防除に努める。

# 令和5年度 八重山群島 病害虫発生予報 第6号（9月予報）

○向こう1か月の天候の見通し（令和5年8月17日発表：沖縄气象台）

平均気温	降水量	日照時間
高い	ほぼ平年並	ほぼ平年並

○9月の発生予報（八重山群島）

作物	病害虫名	調査結果	予報		予報の根拠
		8月の発生量 (平年比)	8月からの 増減	9月の発生量 (平年比)	
（2水 期 稲）	① スクミリンゴガイ	並	↘	並	平年の発生量の推移（↘）
マン ゴー	① ハダニ類	並	→	並	平年の発生量の推移（→）
オク ラ	① フタテンミドリヒメヨコバ イ	並	→	並	平年の発生量の推移（→）

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※（発生なし）は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターの  
ホームページにて、発生予察の詳細  
内容やその他情報を掲載しています。

○その他注意すべき病害虫（八重山群島）

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
マン ゴー	炭そ病・軸腐病・すす点病	せん定枝や残さは感染源となるので、施設外へ持ち出し処分する。
	ドクガ類・ナカジロフサヤガ ・ハマキガ類、シャクガ類	新葉で発生が見られるので、施設内を見回り、早期発見・防除に努める。
	カイガラムシ類	せん定枝や残さは発生源となるので、施設外へ持ち出し処分するとともに、早期発見・防除に努める。
オク ラ	カタツムリ類	切り戻し後萌芽した株は、草丈が低く葉が柔らかいため加害を受けやすいので、発見次第捕殺に努める。

向こう1か月の天候の見通し  
沖縄地方（08/19～09/18）

予報のポイント

- 向こう1か月の気温は、暖かい空気に覆われやすいため、高いでしょう。

1か月の平均気温・降水量・日照時間

	平均気温（1か月）	降水量（1か月）	日照時間（1か月）
沖縄地方	低20 並30 高50% 高い見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み
数値は予想される出現確率（%）です	<p>平均気温（1か月）</p> <p>低い確率（%） 50 40 40 50 高い確率（%） L 平年並も40 J 以上 以上</p>	<p>降水量（1か月）</p> <p>少ない確率（%） 50 40 40 50 多い確率（%） L 平年並も40 J 以上 以上</p>	<p>日照時間（1か月）</p> <p>少ない確率（%） 50 40 40 50 多い確率（%） L 平年並も40 J 以上 以上</p>

数値予報モデルによる予測結果

1か月平均の地上気圧（左図）は、日本の南東海上を中心に太平洋高気圧が張り出しますが、沖縄付近では平年より低いと予測され、湿った空気の影響を受ける時期もあるでしょう。

上空約1500mの気温（右図）は、北・東日本を中心に全国的に平年より高く、暖かい空気に覆われやすい見込みです。

8/19 - 9/15

CONTOUR PSEA : 4hPa ANOMALY: 2hPa

地上気圧

8/19 - 9/15

CONTOUR TEMP.: 3°C ANOMALY: 1°C

上空約1500mの気温

季節予報では、よく似た初期値から出発した多数の数値予報結果を利用します（アンサンブル予報）。多数の結果の平均（上図など）から大気の状態を判断し、また結果のバラツキ具合から予報の信頼度や確率を計算します。

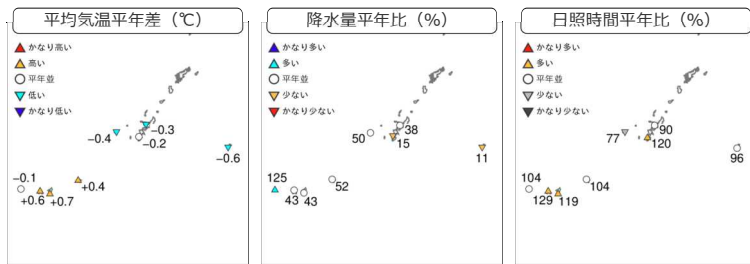
週別の平均気温と天候

	平均気温（1週目） 08/19～08/25	平均気温（2週目） 08/26～09/01	平均気温（3～4週目） 09/02～09/15
週別の天候	太平洋高気圧に覆われて晴れる所もありますが、湿った空気の影響で雲が広がりやすいでしょう。	湿った空気の影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。	平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
沖縄地方	低20 並30 高50% 高い見込み	低20 並50 高30% 平年並の見込み	低20 並30 高50% 高い見込み
数値は予想される出現確率（%）です	<p>平均気温（1週目）</p> <p>低い確率（%） 50 40 40 50 高い確率（%） L 平年並も40 J 以上 以上</p>	<p>平均気温（2週目）</p> <p>低い確率（%） 50 40 40 50 高い確率（%） L 平年並も40 J 以上 以上</p>	<p>平均気温（3～4週目）</p> <p>低い確率（%） 50 40 40 50 高い確率（%） L 平年並も40 J 以上 以上</p>

明日から1週間の、日別の天気や気温などは、週間天気予報 (<https://www.jma.go.jp/bosai/forecast/>) を参照してください。

季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。「平年並」がどの程度の値になるのかについては、参考資料 (<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/sankou/okinawa1.html>) をご覧ください。文章による解説については、確率の大きさに応じた言葉で表現しています。詳しくは本資料末尾の「参考（確率予報の解説）」をご覧ください。

最近1週間の天候経過



(実況) 08/10~08/16	平均気温平年差	降水量平年比	日照時間平年比
沖縄地方	+0.1℃ (平年並)	52% (平年並)	106% (平年並)

参考

確率予報の解説 (ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています)

出現確率 (低い (少ない) : 平年並 : 高い (多い) )	解説
高い (多い) 確率が50%以上	高い (多い) 見込み
(20 : 40 : 40)	平年並か高い (多い) 見込み
平年並の確率が50%以上	平年並の見込み
(40 : 30 : 30) (30 : 40 : 30) (30 : 30 : 40)	ほぼ平年並の見込み
(40 : 40 : 20)	平年並か低い (少ない) 見込み
低い (少ない) 確率が50%以上	低い (少ない) 見込み

気温・降水量・日照時間等の平年値につきましては、次のページをご覧ください。  
<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/sankou/okinawa1.html>



天気日数 (晴れ日数及び降水日数) の平年値につきましては、次のページをご覧ください。  
<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/kaisetsu/tenkinissuu/tenkinissuu.html>

